

和歌山北高等学校西校舎

実施日時	令和2年8月3日（月）、4日（火）、5日（水）、6日（木）
参加者	生徒220名、教職員30名 地域（日本赤十字社）3名 計253名
実施内容	防災・減災セミナー（協力：日本赤十字社）

ねらい

- 1 防災専門家の講義を受講することで災害発生時に命を守る行動をできるよう防災に関する知識を修得する。
- 2 災害後の生活で必要となることを学習することで、災害発生後の暮らしをつなぐ「自助」、「共助」についての理解を深める。

主なプログラム

講義

- 1 地震・津波から命を守る
- 2 大雨・土砂災害から命を守る
- 3 被災後の暮らしをつなぐ

概要

日本赤十字社和歌山県支部から講師を派遣いただき「赤十字防災セミナー」を開催した。

新型コロナウイルス感染症防止のため、3密を避け、小集団に分散し、以下の日程で実施した。

8月3日（月）13:05～14:25

対象：1年生 スポーツ健康科学科

8月4日（火）13:05～14:25

対象：1年生 普通科

8月5日（水）13:05～14:25

対象：2年生 スポーツ健康科学科

8月6日（木）13:05～14:25

対象：2年生 普通科



- 1 地震・津波から命を守る
 - 地震の揺れによる被害を抑える・減らすための固定具の活用、整理整頓や火災時の行動について学ぶ。
 - 津波の特徴を学ぶとともにハザードマップの確認や高所への避難意識を高める。
- 2 大雨・土砂災害から命を守る
 - 早めに安全な場所に避難するために住んでいる地域の情報を知る。
 - 気象や避難の情報を十分に理解し、五感で感じる情報なども活用する。
- 3 被災後の暮らしをつなぐ
 - 日頃から準備するなど自分にしかできないことは自分で備える。（自助）
 - 被災後の暮らしの中で自分だけでは成り立たない部分を自主防災組織など地域で助ける。（共助）

成果と課題

【成果】

密を避けるため、各学年、学科別に講義を行った。結果として、小集団の講義となったため生徒にとって身近にとらえることができ、災害や被災後の暮らしに対して真剣に考えたようである。

【課題】

コロナ禍のため、毎年行っている実習（救急救命講座等）は実施しなかった。来年度は、感染防止対策には十分留意して、実施できる実習等を検討していきたい。